

「乞巧奠」～平安の七夕を現代に再現～

大宮八幡宮（大宮2丁目3番1号）では、7月1日から7月15日まで、平安時代の七夕飾りである「乞巧奠（きっこうでん）」が公開されています。また技芸の上達を祈って潜る「大宮八幡乞巧潜り」が設えられるなど、境内は七夕一色に染まりました。

大宮八幡宮は、千年の歴史を持つ区内を代表する神社の一つで、子育て厄除け八幡さまとして、また「東京のへそ」として知られています。大宮八幡宮には、5月のわかば祭り(春の大祭)や9月の大宮八幡祭(秋の大祭)など様々な祭事・行事がありますが、例年7月には平安の七夕を再現した「乞巧奠」が公開されます。

乞巧奠は中国の織姫（おりひめ）・牽牛（ひこぼし）の星祭りや日本古来の聖なる乙女「棚機つ女（たなばたつめ）」の信仰が重なり、平安時代の宮中を中心に技芸の上達を祈る七夕行事として行われていたもので、裁縫や書道・詩歌・管弦などの上達を祈り、大宮八幡宮で実際に使われている雅楽の楽器や筆硯（ふですずり）・糸などが供えられました。この乞巧奠は「平安時代の宮中行事を現代に再現したい」という思いから始められ、今回で20回目を迎えます。乞巧奠は7月15日（日曜日）まで開催されています。



また、これに併せ境内には梶の葉や五色の布を垂らした「大宮八幡乞巧潜り」が設けられ、これ潜ると技芸が上達するとされることから、多くの参拝者が祈りをこめて体験していました。



第20回 平安の七夕 乞巧奠（きっこうでん）飾り

【日時】 7月1日（日曜）～7月15日（日曜）

【場所】 大宮八幡宮 清涼殿ロビー（大宮2丁目3番1号）

【交通】 電車：井の頭線「西永福駅」より徒歩7分または「永福町駅」より徒歩10分

【問い合わせ先】 大宮八幡宮 : 電話03-3311-0105

総務部広報課 : 電話03-3312-2111（代表）